

東由利村報

No. 118 1967.5.1

部落長会議

4月22日午前9時から役場で部落長会議が開かれた。

○村長あいさつ

村政を語り合い、新任部落長の歓迎、納税完納・41年度米多収穫部落の表彰を行う。

なおこの機会に42年度村予算の概略を説明いたします。

私は私の分身として深く部落長の皆様を信頼したようにしている。お帰りになつたら全部落民に私の意のあるところをおつたえ願いたい。

それより火災予防外11項目の連絡事項をお願いして会議をおわった。

部落長会議



納税完納、米多収表彰式

小畠事知臨席

小畠知事殿を始め関係官庁村内多数来賓臨席のもとにこの表彰式をあげることの出来たことを深く感謝申上げる。

この納税完納は、全村民が、国・県・村政に総参加したところに重大な意義がある。更に決意を新たにして成績の向上をはかるようお願いする

41年度産米の優良多収部落の表彰も同時に行うが、今年は一層努力して県の方針にもこたえてもらいたい。

○知事あいさつ

今回の知事選挙にあたって村をこぞっての支援に心からなる感謝を申上げる。

本村の税金完納は井川村について全県第2位である。これは、村民が税金を出してもその税金が、自分たちのしあわせのために使われているこ

部落長会議に引つづいてこの表彰式が行われた。

選挙後登庁してまだ4日目という、目のまわるように忙しい知事がはるばる臨席して下さった。我が村に対する知事の温情がジーンと参列者の胸を打つ、その感激の中にこの式が行われた。

○村長あいさつ

発行 東由利村役場 毎月1日発行 定価1部5円
印刷 KK本間印刷所

とが、よくわかるような行政が行われて来たことが大きな原因であろう。

全くこの村は、来るたびごとに村の様相が目に見えて改善されている。

村には広大な山林原野がある。この宝庫をほんとうに生かすことにより、村の前途は実に洋々たるものがある。

又米についても、県の反対1俵増産運動に十分努力せられ、りっぱな成果をあげて、私自身ここに来て表彰することになるよう希望する。

○議長あいさつ

納税完納2年目をむかえてこれは長くつづくなと確信してよろこびにたえない。

これは村民の一人一人がえらくなつたのである。その力が一団となって結集した姿がこの納税完納である。

このすばらしい土台の上に山林経営を始め、楽しくしあわせな村をきづくことに努力しましよう。

○祝賀会

心からよろこんで下さる知事を中心に、人間的な温かい心の結ばれた会であった。

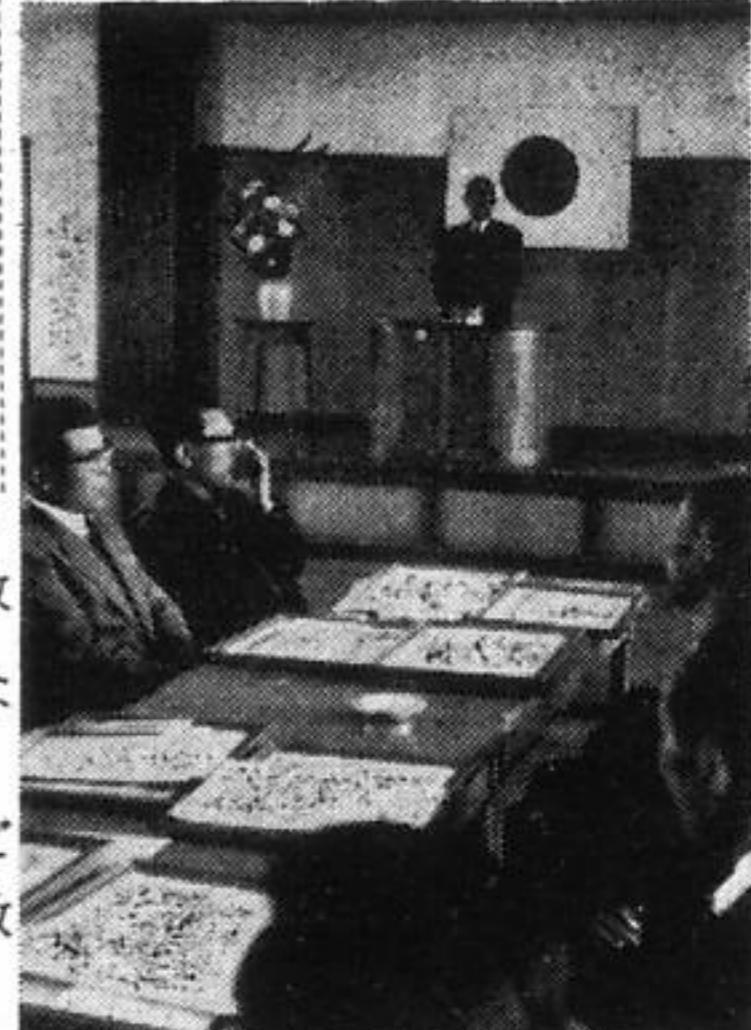
県議選挙開票結果

(東由利村)

4月15日行われた県議選挙における我が村の開票結果は次のとおりである

○

投票総数	4,100
有効票数	3,865
木内主計	1,431
佐藤久一	1,256
小浜周一	625
長谷部七郎	475
金利三郎	42
佐々木甚右エ門	36



知事あいさつ

村長招待 教職員懇談会

恒例の昭和42年度教職員懇談会は4月20日役場で行われた。小中学校・保育園・定時制高校各職員・教育委員・中央教育事務所由利出張所長など130余名出席。

村長の村行政一般についての説明、議長、出張所長のあいさつあって懇談にうつり、懇親会では両中学校職員の特別出演などもあって、新旧職員同志はもとより主客一体となった文字通り懇親の会であった。

▷村長あいさつ◁

戦後の日本が急速に立直ったのも、僻地の我が村がここまで来たのも、その根底をなす力は教育にある。

教職員の皆様には深い尊敬と大いなる期待をかけておる

▷議長あいさつ◁

私は先生方にお願いする。「先生方の人格によって子どもを感化するように」と。

▷出張所長あいさつ◁

こうしたもよしは、地域との交流、相互の親睦をはかる上にその意識は大きい。

▷懇談の要点◁

○学校給食の全面実施について

○学校飲料水の不足な学校がある。速急に設備をととのえるように

○修学旅行引率者の手当の増額が出来ないか

○学校統合の見通し

郷土史夜話

⑦

生駒支家領となつた 黒淵・田代

わが村が矢島の生駒領になつたのは寛永17年(1640)であり、それまで本荘六郷領であったが、生駒さんが由利郡内1万石で転封されたその年、村替えによって生駒領となつたものである。(杉森は石沢郷に属していたのでそのまま六郷領)

矢島初代領主は生駒高俊で、二代高清が万治2年(1659)遺跡拝領と同時に、父高俊の遺言によって2千石を弟俊明に分知した。

この分知領は本村の黒淵田代(当時は河内村と呼んだ)と仁賀保町小出方面で伊勢居地に代官を置いて支配していたため、普通この生駒支家領を総称して伊勢居地領と呼んでいたようである。

こうして矢島宗家支配から離れたため、それ以後の河内村に関する記録が村にも矢島もなく、現在その分だけ資料が欠けているのは残念である。

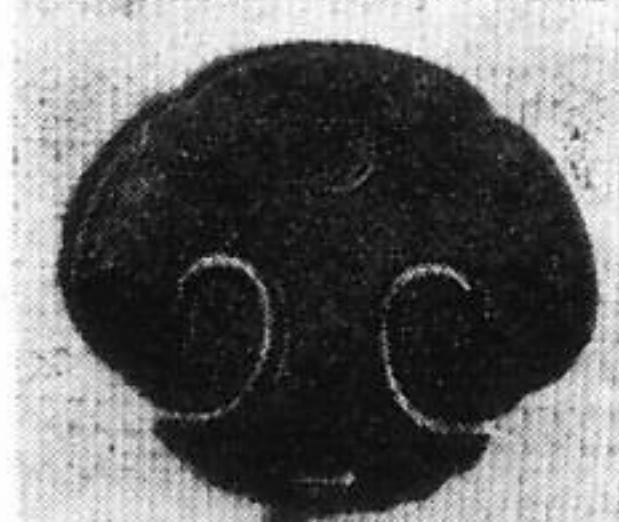
後年、公儀にまで持ちこんで決裁をえたほどの争いになった牡丹野新田水論もこうした領地の分割が遠因

となつたことは容易に想像されるし、宝暦8年の御領内覚書には須郷田・高戸屋

間の川原田橋が「両御領より半分宛掛分けの橋也」と記録され、領主相方は宗家支家の関係があつたろうが領民にとってはまったくの彼我の関係でしかなかつたようだ。

ところでこの支家領について一つの疑問がある。元禄15年(1702)の生駒主税(当時の支家領主)知行高辻帳には、河内村とともに下村郷のうち法内村を除いた上里・中里・下里村も支家領になっているが、その後の資料からしてこの事実はなく、上里・中里・下里村は単なる表向きのものであつたのか、あるいはその分だけ後で領地を交換したものであるか、今後の一つの研究課題である。【正】

写真は田代の林沢寺にある雲版で、これには「享和三歳、羽州由利郡伊勢居地領田代村林沢寺付物」と彫られており、支家領であったことを物語っている。



公民館 地区運営委員会

4月25日午後1時から役場で開催した。

出席者は、公民館長、木島公民館主事、小野広志、畠山貞一郎、佐藤歓治郎、遠藤莊二郎、小松慶次郎の各地区運営委員長で、小松主事より、42年度公民館運営計画の説明あり、それぞれ協議の上事業毎に予算の配分をした。

セミナー開講式

4月28日役場で行われた。村長、教育長、経済課長、中村普及員、小松主事、佐藤小沼農協営農指導員、菅原寅田事務局員、学級生30余名出席。

村長激励のことばについて本年度学習計画の説明、テキスト配布の後、村長を中心とする懇談会では、農工一体の村づくり、林業の振興などが主な話題となつた。

午後は中村普及員の稻作～特に肥料設計と苗代管理の指導を受け、終って台山グランドで競技を行つた。

▷村長激励のことば◁
セミナーの目的はなんだ。それは農業の近代化を進める事、農業の後づぎとしての力を養うこと、そして、明るいしあわせな村を、国をつくり上げることである。

火災避難訓練

蔵小学校で実施

4月4日、春季防火週間の第1日、全村消防団参加のもとに、蔵小学校で火災避難訓練が行われた。

村長講評より

- 児童の避難完了までの時間は約3分、職員の重要書類持出し等おおむね良好
- 団員の消火作業中極めて静しうくで、指揮者の命令がよく徹底したのはよい
- 現場にポンプを運びながら先着者をさけて別の場所に移動したものがあるが、分秒を争う場合の措置としては断乎たる決意に欠けるものがある。
- 全村民皆消防の立場から、付近住民も傍観していないで、今後は訓練に参加するよう指導すべきだ



避難訓練

健康な稻づくり

推進本部会議

4月13日、役場で推進本部会議を開いた。出席者は経済課長、勧業係、本荘普及所黒沢普及員、佐藤小沼農協営農指導員、農業対策審議員などで、次のような対策について協議した。

- 昭和42年度健康な稻づくり推進対策
2月7日の会議で決定した推進計画、優良品種の統一・健苗早植・施肥設計・病虫害防除・除草剤と水管理適期刈取と乾燥などについて具体的に検討して再確認した。
- 推進員の委嘱

原則として増産班長を委嘱し、名実共に責任をもって増産に挺身するよう講習会等も開く。

3、水稻多収穫集団表彰

・県の「反当750キロ(5石)集団表彰制度」と並行して、多収競作を実施する。

バイク免許試験

第1種(50)

受付、5月1日～15日
試験日、5月19日
印紙代、300円

第2種

受付、5月1日～25日
試験日、5月30日
印紙代、500円

持参品、写真2、戸籍抄本1
診断書1、印かん

農村集団電話説明会

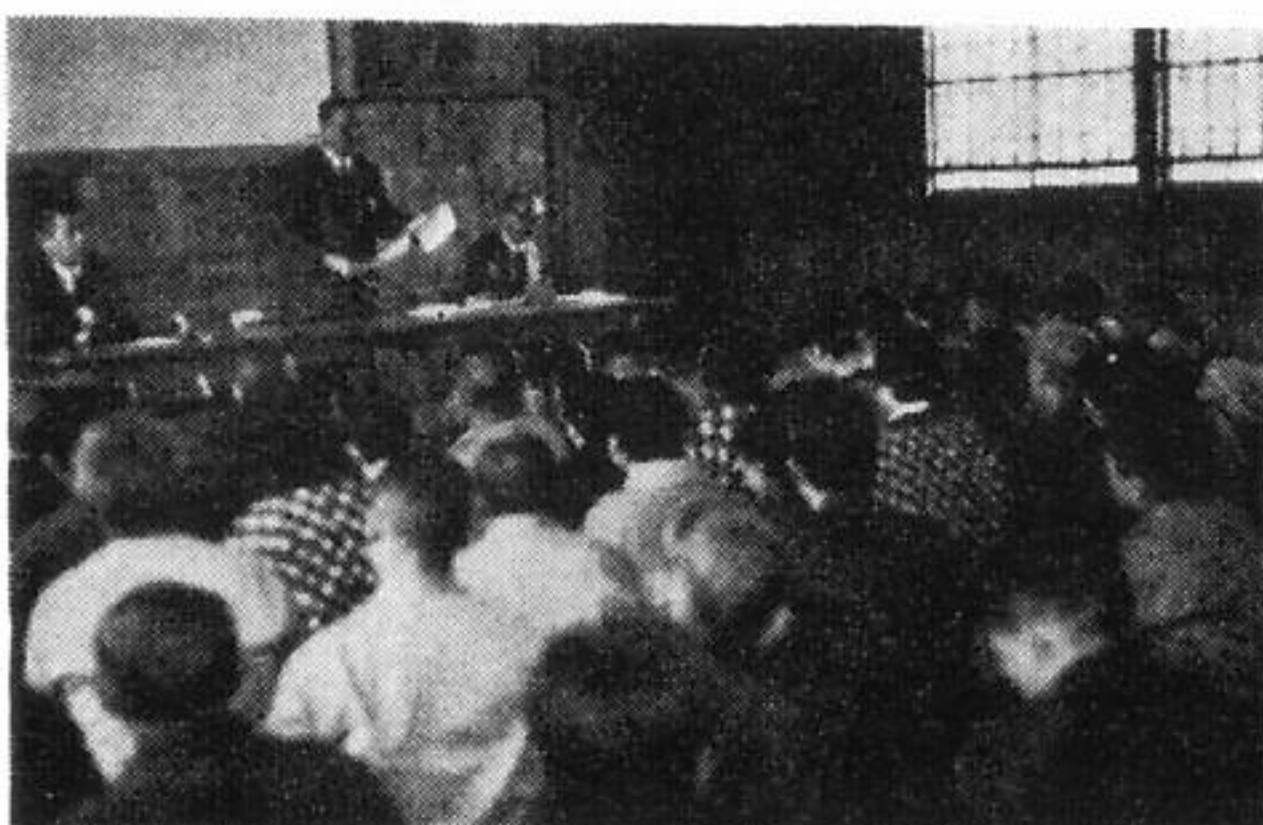
4月18日午後1時から老方小学校でこの会があった。申込者多数が出席し、老方郵便局長・村長・議長からそれぞれ説明があった。

加入申込者は現在421名で僻地の事情を考慮せられ、申込順序をかえて今年中に通話開始出来るよう取計らつてもらうことになった。

それにともない、次のことをはっきりしておくように

1、電話の申込を確定するこ

- と。
- 2、申込料300円・公債6万円・設備費1万円はいつでも出せるよう準備すること
- 3、電話の申込みは、工事完了までは受付けるが、その後は少くとも3年は受けない。
- 4、工事が始まると色々な問題が起ることが予想されるが、工事を進めるに差支えのないよう手配すること、これには村でも援助する。



身障者更生協会総会

この会は4月25日役場で開かれた。決算予算の審議・役員改選を行い、引づいて合併10周年記念祝賀会をもよした。

この日要務をくり合せて特に出席した村長から次のようなあいさつがあった。

村の身障者は約120名であるが、今日10周年記念をむかえるまで、長い間よく団結して事業を進めて来たことに、深く敬意を表すると共に、身障者の皆様を非常に気の毒に思っています。

養兎事業や皆様で出来る副業などについても協力するようつとめていますが、特にあなた方が、お互にいたわり合う心を村民におしひろめて和やかな村をつくるようお願いします。

○ 新役員

会長、佐藤欽之助

副会長、伊東庄二郎

佐藤太一郎

会計係、佐藤 佐一

学園だより

小松豊子

この4月、天王高等農業学園に入園した、小松豊子さんからのおたよりです。

○

村長さん、久しくご無沙汰致しまして申証ございません。村長さんのお蔭で農業学園に入園することができました。自分で思っていたより、学園も大きく広々としております。寮内の人たちはとても親切で、特に2年生の人がやさしくおしゃってくれるので助かります。ビニールハウスにはキュウリの花などもさいています。

朝おきるのは6時ころです。今まで7時にならないと起きませんでしたが、こちらにきてから6時なので、すぐにはおきられませんでした。でもベルと一緒に目をさますよう努力しております。

これから私たちが農業していく上に、学園でいっしょにんめい勉強して、村に帰つ

たらバリバリ働くつもりです。だんだん農業もすきになってきました。

女ばかりの生活なので、気軽に過ごすことができます。早く学園にもなれてしっかりした力を身につけたい決意です。こちらにきてからわがままもなおり、とてもすなおな気持ちになったような気がします。これからも、わからないことばかりあると思うので、今後ともご指導下さるようおねがいします。

どうぞくれぐれもお体を大切になさいますよう、村長さんのご幸福をお祈り申上げます。4月8日

季節労務者懇談会

春と共に帰って来た人々が4月11日役場に集まって懇談会を開いた。助役・本荘職業安定所長のあいさつについて、職場での仕事の反省や体験談などの発表があった。

安定所長から、職場の条件が約束とちがっていたり、不満な事情のある場合は、安定所に知らせてくれれば、担当の安定所に連絡して処理するからぜひ知らせてもらいたいとのことであった。

午後の話し合いでは、村からは現在7、8百人も季節労務者が出ており、経済的にも社会的にも重要な問題となっているにもかかわらず、個々バラバラで実体をつかむことさえ容易でなく、就労にも就労後も、多大の不便不利を来ておる。

季節労務者自身の組合をつくり、統制ある集団就職を目指して進む一方、村行政とも密接な連絡をとることが出来るよう、近く設立準備会を開き、「季節労務者協議会」をつくることを申し合せた。

老人会会計監査

4月12日役場で老人会の会計監査があった。出席者は各地区の老人会長で、その席上村長に対して次のような要望があった。

- 1、77才になった人々に対し記念品を贈って祝ってもらいたい。
 - 2、80才になった人に鳩杖を贈ることにしてもらいたい
 - 3、80才になって夫婦共健在な人達を祝ってもらいたい
- これに対し村長から、「趣旨は了承した。具体的なことは府内でもよく検討して「敬老の日」をめどに実施したいとの回答があった。

新任のあいさつ

土谷 敏雄



4月の県の定期人事異動で業務担当が変り東由利地域の林業改良普及事業を担当することになりました。

社会的経済的諸条件の変化と、技術の高度化という要請で従来の指導員駐在所は廃止され、農林事務所から直接出向いて事務をとる訳ですが、計画化と機動化により充実した活動をする積りです

東由利村は八割余が森林でそのうち生産性の高い人工針葉樹林は3割余という現状で、他町村に比較して人工林化が進んでおる訳ではないので、山村における農家経済を豊かにするには先づ造林とこれに伴う管理を積極的に、徹底して実施する必要があると思います。

また森林組合を真の協同組織として拡充し、林業経営上の資材・労務・資金・情報等の供給提供を積極化すると共に、林産物の流通販売に合理性をもたらせる必要があると思います。

更に短期に収入を得るために特殊林産物としての栗栽培の集団化を図ること、林業技術を習得するため農林家の方々のグループ結成による集団化を図ること。入会林野権利関係の安定化を図ること。その他林業機造上の諸問題を一步一步解決して、村の重要産業である林業の振興を通じて、明るい豊かな村づくりをする

高瀬川夕暮れにけりさふさふと雪どけ水のあな恍しさふさふと山にこだまし流れ行く高瀬の川の雪どけの水卒業の子らの去りにし校庭にはそばそと降る早春の雨校庭に雪を割り居り新しき入学の子らをわれは待ちつ

高瀬川 山田礼智

明日のない 八丈小島から(5)

長谷山治弥

八丈本島の方は、1日に飛行機が東京との間を4回も往復しており、商店も軒をならべ、電気、水道もあって、都会の生活と変わらないのですが同じ八丈でも、この小島は、冬には季節風が吹きすさび船の通える日が少なく、すべての生活物資は、電話で注文して、その船に積んでもらうわけですから、待ち遠しいことおびただしい次第です。

1ヶ月の間、1度も財布の口を開くことのない生活ですから、みなさんが「残るでしょう」とおっしゃいますが、何をかも、何日何十日分も、お店が出せる程買いこんでおくのですから、想像と現実とはかなりの差があるでしょう。毎日、アメリカまで続く海ばかり眺め、おんなじ人の顔ばかり見て、興味もない変わりばえのしない話を繰りかえして聞き、同じものばかりたべて暮します。

東由利もへき地1級とか、当地は文字通り「正真正銘」「海の孤島」のことなれば、へき地5級、しかもそれ以上はないからで、俗に超へき地



育だて、すこやかに
みどり保育園入園式 (4月6日)

といわれて特別扱いですが、これでも呼び名は東京都です。

あと一年居って、また都心の学校へ戻る予定ですが、日本一小規模へき地校と、大東京の中心地で勧めあげたら地域的には、まず日本中の学校の様子がわからうかと思つております。

いつもいつも村報のご惠送をいたたくたびに、「おれの血は東由利だ」と、心強く、なつかしく読ませていただいております。

袖山小、玉米小にも勤めた甥の和夫が、島ショーチューを十二分にたのしみながら、だまって3年間つとめあげましたが、私は自らの目で見、暮してたしかめた、恵まれない学校の状態を、大いに叫びつづけて、聞いていただける人たちのお耳に入れたいと思っております。先日訪れた家の光の記者が、島に帰ったばかりの私に、「東京に行って何を一番感じましたか」と聞きますので、「女の子がきれいに見えることだ」と答えてやつたら至極感心して行きました。まさか私のこと、ことは書かないでしょうが、2月号とかにこの小島を紹介するそうです。

吹雪の舞い落ちる北国から遠く離れた当地には、いろいろ珍らしいことが、いっぱいありますから、まだ機会がありましたら、お知らせしたいと思います。

(41・12・16)

交通事故防止に 最善の努力を

昨年の交通警察は、われわれにとって、多事多難の一言につきるような年でありました。2月早々連続して発生した死亡事故を皮切りに、4月から8月まで死亡事故が相ついで発生し、暗い悲しい記録の連続がありました。

私たち関係機関とも緊密な連絡をとり、その協力を得ながらあらゆる努力をしてまいりました。

そのかいあってか、8月からはどうにか交通事故も下り坂にむかいましたが、色々な事情から交通事故は益々多くなる傾向にありますので、今後とも事故防止には最善の努力を払う決意でありますので、皆様のご協力を切にお願いいたします(本荘警察署長)

○昨年中の我が村の交通事故宿駐在所管内6、館合2老方0

もし交通事故にあつたら
○先づしなければならないこと。

○車の番号をおぼえておく
○見ていた人をさがす
○運転者の住所・氏名・勤務先をたしかめる

○必ず警察に届けて証明をもらう

○損害でかかった経費は全部請取をもらっておく

▷示談について
示談は自賠法の保険額を最低額として出発する場合が多い。いろいろ相談するところ

があるから、急いで後悔することのないように…加害者との話がまとまらず、金に困る場合は、仮渡金の請求が出される。死亡の場合は50万円、傷害の場合は1~10万円の額が査定され支拂われる。

▷賠償額計算の方程式

賠償の算定には通常「得べき利益」つまり生きておればこれだけの収入があったという計算だ。

たとえば、30才の人が、死んだ時の月収が5万円になると、日本人の平均寿命は70才生活費などは差引く、

$$[5 \text{ 万円 (収入)} \times 12 \text{ (月)} - 24 \text{ 万円 (生活費)} \times 40 \text{ (平均寿命70-30)} = 1,440 \text{ 万円}]$$

】実際はこの期間の利子などを引くのでいくらか少くなる

▷堂々と賠償請求を

「安全は一人一人の心がけ」とはいうけれど、向うさんが飛び込んで来ることもある。もし不幸にして交通事故にあったら、その不幸をいくぶんでも少なくするために、被害者やその家族は、当然の権利として堂々と、正当な賠償の手締きをすべきであろう。

春の交通安全運動

5月22日~31日

この運動はあらゆる交通事故をなくすためのものであるが、特に歩行者と自転車の安全通行を目標にする。

歩行者は、

- 歩道のないところは必ず右がわを通る。
- 道を横ぎる時はよく左右を見て、手をあげてまっすぐに通る。
- 信号機のあるところでは信号に従って通行する。

自転車は

- まがる時は必ずあいすを
- 左側を一列に
- 傘さしや片手運転をやめる
- ブレーキ、ライトに注意
「交通安全総参加の日」

—5月27日—